民報
# あばしり
NO.1305
2月21日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四三－四四五八
F 四三－四四五七

## コロナウイルス特別委員会開かれる 市民の命と生活を守るため早急に

2月15日、議会では新型コロナウイルス感染症対策特別委員会が議員全員の参加で開かれ、特別委員会での調査研究項目や進め方についてを協議しました。

調査研究項目は①網走市の情報公開及び情報発信のあり方②コロナ対策本部の情報開示③市民生活の現状と支援の取り組み④市内の経済状況と課題、支援の取り組み⑤医療や福祉関係の課題、支援の取り組み⑥感染拡大時の対応⑦イベントのあり方⑧農大生の事前検査⑨ワクチン接種の準備状況などの案が出されました。常任委員会での調査案件は除く考えですが、早急な対応が必要な場合は本委員会でも扱う案も出されました。

進め方としては、まず議員間で意見交換し、文書化し理事者に送付する。後日、理事者を交えて議論するとの案が出されました。

調査項目や次回の開催については、市民の命と暮らしを優先すべきことであり、山田委員長と栗田副委員長で取りまとめることとなりました。

## 市民の理解は不十分 学校給食の集約化は見直しを！

15日、来年度の予算説明が行われました。学校給食の集約化をするための工事費（南小、潮見小、東小、白鳥台小、呼人小中）として1億1750万円が計上されています。

昨年、市民から集約化と民間委託の計画について多くの反対の意見が出され、予算計上を見送った計画です。

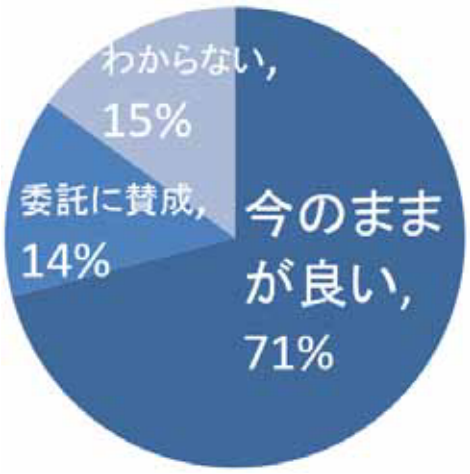
この冬に、市内各所で説明会が行われ、市民の不安や反対の声を聞いてきているのに、なんら変更の無い計画です。給食調理員の不足の改善策、例えば待遇や給与の改善など検討してきたのか疑問です。

市の進め方に危機感を抱いた市民が先週11日に、「**学校給食についてあらためて考えてみませんか？**」の折込みチラシを出しました。そこにも書かれていましたが、委託しても

### コスト削減にはならない

ということです。この間、議会質問などで「委託して大丈夫なのか」の問いに、「食材は市が発注するので地産地消、食育は今まで通りで大丈夫」との答弁です。その結果、市の負担は増えると市は説明します。これで、市民の理解はえられるのでしょうか。

説明会の参加者もコロナ感染でごくわずかです。説明した、理解を得たとは言えません。市民の理解を得たうえで進めるべきです。




## アンケート結果では 今の給食を

日本共産党網走市議団が昨年暮れに行ったアンケートには420件の回答がありました。

「教育委員会は学校給食の集約化と一部の調理場を民間に委託する計画です。市民からは、直営で地産地消が生かされている今の体制を続けて欲しいと声が上がっていますが、あなたのご意見をお聞かせください。」との設問への回答は213件あり、71％が今の給食調理方式が良いと答えています。委託に賛成（14％）でも経費が安くなると考えており、市民には計画の内容が伝わっていません。

教育委員会は、市民の意見を集約して検討する。調理場の集約化、民間委託は一旦中止し、今の給食調理方式を維持するための方策を検討するべきです。

## 松浦さとし奮戦メモ！

網走市議会第1回定例会が、3月2日から始まります。この議会の前半は、令和2年度の国の補正予算の関連もあり、補正予算の審査が行われます。それが終わって、9日と10日は各会派の代表による代表質問があります。1人議員の時は代表質問はできませんでした。2年前の市議選で2議席に回復させていただいたお陰で、できることになりました。昨年は新人の村椿議員が行いましたので、今年は私がやることにしましたが、記憶では7年振りの代表質問です。この間、村椿議員と手分けして質問原稿をつくってきましたが、17日までに総務課に提出することになっています。現在のところ、ほぼ目処がつき安堵しています。

19日は二つの委員協議会で補正予算の説明があります。私の所属する総務経済委員会は、前段で所管事務調査が2件あります。その後、委員協議会を開いて50件の補正予算の説明があります。午前10時から始まりますが、午前中に終了しないようです。議会開会後に審査があるので、しっかり準備して望みます。

## 流氷

コロナ禍で外出自粛、職場の飲み会もダメ、イベントも中止で人との交流が制限され、皆さんは愚痴を言う機会が減ってため込んだり、テレワークや仕事が減り家族が一緒にいる時間が長くなり愚痴に疲れたりしていませんか？コロナ禍で自殺される方が増えています。ストレスの発散ができず心の病気やコロナ不安の方も増えているのでは？▼愚痴を言うことで脳に良いことが2つあります。⑴言葉にすることで問題解決につながる。愚痴の原因となるイライラ・モヤモヤとした感情をため込むと、心にダメージを受けてしまいます。これを愚痴として感情を言葉にすると、原因の分析、解決につながりやすくなります。⑵共感してもらうことでモチベーションが高まる。共感を得ることで、脳内物質が出て喜びを感じることがわかってきた。これによりモチベーションが高まり、前向きになれます。ただし、グチグチ言ってばかりだと、脳内物質が止まらなくなりモチベーションが下がってしまうので注意が必要です。▼愚痴の言い方「主語は私にする」こうすることで愚痴に対する罪悪感が減り、自分の感情や考えを客観視でき、問題点もはっきりしてきます。また、気持ちを「書いて」吐き出すのも良い方法です。▼幸せになる愚痴の聞き方は、愚痴そのものではなく「気持ちを聞いていく」こと。愚痴を言ってた本人も気づいていなかった感情にたどり着き、お互いに共感しあえる状態になり、言った本人も苦しみが和らぎ、また聞いた側にも学びがあるそうです。

すみっこ